

# えひめ未来塾



「子ども目線で指導」  
(ひらの未来塾【大洲市】)

①	【西条市】 禎瑞地域未来塾	44
②	【東温市】 東温市地域未来塾	45
③	【大洲市】 ひらの未来塾	46
④	【内子町】 うちこ未来塾	47
⑤	【西予市】 宇和上学び舎	48
⑥	【宇和島市】 うわじま土曜塾	49

# 禎瑞地域未来塾【西条市】

～地域ぐるみで子どもの学びを支えよう～

## ◆活動の目的・理念

- 学習習慣の定着を目指す。
- 基礎学力の向上を図る。

活動場所	禎瑞公民館	対象児童・生徒	小学1年生～6年生	対象学校区名	禎瑞小学校	
開催日数・曜日・時間等	平日(授業日)	26	日	毎週月曜日	14 : 40 ~ 16 : 40	
	土・日・休業日等		日	夏季休業中の月～金	: ~ :	
児童・生徒の平均参加人数	15	人/日	学習支援員	6	人/日 教員OB	
協働活動サポーターのべ人数	0	人		ボランティアのべ人数	0	人
活動内容	宿題や復習の学習支援			参加者募集	小学校が希望者を募る。	

## 取組の概要

### <主な取組内容>

- **学習習慣の定着**  
落ち着いた態度で学習に取り組むよう支援する。
- **宿題にじっくり取り組もう。**  
集中して宿題に取り組み、分からない時は質問をして諦めずにがんばる。毎日の漢字練習や計算練習、音読などをしっかり支援する。
- **学校との連携**  
特に、低学年児童の学習状況は、担任の先生と連携して様子を報告し合う。
- **地域・家庭との連携**  
校区の放課後子ども教室の運営委員会に未来塾のコーディネーターが参加し、情報交換をする。特に、低学年児童の出欠席の確認など、安全に帰宅できるよう連携する。



(低学年の学習の様子)

### 児童・生徒の感想

- ・ 音読や九九をきちんと聞いてくれるのでうれしい。
- ・ 宿題が全部できた後も、プリントでたくさん勉強できる。
- ・ お兄さんやお姉さんと一緒に勉強するので楽しい。

### <特色ある取組>

- **一人一人と向き合う楽しい学習**  
低学年児童が多いため、支援員を多く確保して、音読や九九などをしっかり聞き、一人一人の学習の理解の様子を把握して支援する。
- **他学年との交流**  
下校時間が違うため、低学年と高学年と時間を分けて活動している。特に、1年生は2年生から勉強を教してもらって楽しく学習を進めている。



(音読や九九の練習)

## 事業を実施して

### 【成果】

- 低学年はほぼ全員参加し、毎回楽しく勉強できた。
- 公民館職員や児童クラブの支援員と協力して安全に活動することができた。

### 【課題】

- 施設の使用について公民館や児童クラブ、学校との連携が重要である。
- 放課後の活動に多くの高学年児童が参加するため、未来塾の欠席が多くなった。

# 東温市地域未来塾【東温市】

～地域ぐるみで学びを支えよう～

## ◆活動の目的・理念

- 家庭での学習が困難な、又は学習習慣が十分身に付いていない中学生を対象として、教員OBや地域住民等の協力を得て学習教室を開催することにより、学習の遅れの解消や学習習慣の定着を図る。

活動場所	川内公民館	対象児童・生徒	川内中学校在籍生徒	対象学校区名	川内中学校	
開催日数・曜日・時間等	平日(授業日)	30	日	毎週火曜日	16 : 30 ~ 17 : 30	
	土曜日	20	日	毎週土曜日	9 : 30 ~ 11 : 00	
児童・生徒の平均参加人数	6	人/日	学習支援員	3	人/日 教員OB	
協働活動サポーターのべ人数	35	人	大学生	ボランティアのべ人数	0	人
活動内容	宿題や予習・復習の学習支援、学習習慣の育成、学習相談への対応			参加者募集	中学校を通じてチラシを配布し、希望者を登録	

## 取組の概要

### <主な取組内容>

- 宿題にじっくり取り組む。  
・学習に適した環境で、集中して宿題に取り組む。
- 分からない問題に取り組む。  
・授業や宿題で分からなかった箇所を学習支援員等の助言を受けつつ、問題箇所を解消していく。



(土曜日の未来塾)



(火曜日の未来塾)



(個別指導)

### 生徒の感想

- ・分からない問題が分かるようになり、授業が理解できるようになった。
- ・勉強できる場所があるのがうれしい。

### <特色ある取組>

- 地域の方々による協力  
地域に住む教員OBに学習支援員として指導をお願いしており、今までの経験から受講生に個別の指導や対応が可能となっている。また、大学生がサポーターとして参加しており、受講生と近い年代であることから受講生の進路について参考になるような経験を話すことができる。



## 事業を実施して

### 【成果】

- 学習習慣の定着が図られ、学習意欲の向上が見られた。
- 分からない問題を学習支援員等と一緒に取り組むことで、共に学ぶ体制が構築できた。

### 【課題】

- 部活動や課外活動があり、参加したいが時間的に参加できないことが多い受講生がいたため、開催時間帯の調整を検討。
- 長期休業中の開催を検討。

# ひらの未来塾【大洲市】

## ～地域ぐるみで子どもの学びを支えよう～

### ◆活動の目的・理念

- 家庭での学習習慣の定着を目的とし、長期休業中(夏休み)の学習支援を行う。
- 学習の遅れを取り戻し、スムーズに2学期を迎える。
- 地域の方や、卒業した先輩との関わりの中で、安心して学習できる場を提供する。

活動場所	平野公民館	対象児童・生徒	小学1年生～中学3年生	対象学校区名	平野小・中学校
開催日数・曜日・時間等	平日(授業日)	日	毎週 曜日	:	～ :
	土・日・休業日等	10 日	夏季休業中の月～金	9 : 00	～ 15 : 00
児童・生徒の平均参加人数	20 人/日	学習支援員	5 人/日	教員OB、PTA会員、PTA会員OB、民生児童委員、学生ボランティア(高校生・大学生)	
協働活動サポーターのべ人数	15 人	教員OB、民生児童委員	ボランティアのべ人数	41 人	PTA会員OB、学生ボランティア
活動内容	夏休みの宿題、自主学習の支援		参加者募集	各小・中学校を通じてチラシを配布 希望者は自由参加	

### 取組の概要

#### <主な取組内容>

- 宿題にじっくり取り組もう。  
夏休みの宿題を終わらせよう。  
分からないところは、高校生や大学生、地域のボランティアに遠慮なく聞こう。
- 学習時間と休憩時間のけじめをつける。  
小学生は45分、中学生は50分で10分休憩する。
- 「カクトレ」「漢字コグトレ」「中学10分ドリル」活用。  
宿題が終わっている子どもには、ドリルにチャレンジしてもらおう。
- 作文・読書感想文教室を開催。  
夏季休業期間中の前半・後半に1日ずつ開催し、大変好評だった。

開催日	前半	7/31(月) ～ 8/4(金)
	後半	8/21(月) ～ 8/25(金)
時間	小学生	9:00 ～ 11:00
	中学生	13:00 ～ 15:00



(多くの学生ボランティア)



(子ども目線で指導)

#### アンケート結果より

- ・ 9割以上が参加させて良かったと回答していた。ただし、参加率は小学生67%、中学生42%だった。
- ・ 自分で順序立てて書くことができていた。今回は一人で書くことができていたので、とても良かった。(小学生保護者)
- ・ アドバイスが適切で、本人はとてもやる気を取り組んでいました。(中学生保護者)

#### <特色ある取組>

- 作文・読書感想文教室  
昨年度のアンケートの意見を反映して、2日間の作文・読書感想文教室を開催した。退職校長先生(国語科)に協力を仰ぎ、書き方のアドバイスを受けた。書き方の分かりやすいプリントもあり、大変参考になったようだ。後半では、書いた作文の添削指導もしていただいた。



(作文の添削中)

### 事業を実施して

#### 【成果】

- 昨年度よりも多くの子どもたちに参加してもらえた。
- 新たに作文・読書感想文教室を開催した結果、通常の2倍近い参加があり、とても好評だった。
- 学生ボランティアが口コミで広がり、協力者が増えた。

#### 【課題】

- 保護者が仕事で送迎ができず参加しづらいようだが、何の手立てもできていない。
- 中学生の参加が少ない。(部活動との両立)
- 体験型の活動をしてみたいが、予算の心配がある。

# うちこ未来塾【内子町】

## ～地域で子どもの新しい学びを支えよう～

### ◆活動の目的・理念

- 一人一人が意欲的にプログラミングを体験する環境を提供する。
- 将来の夢や身近な生活につながるプログラミングを通じた学びを目指す。
- 脱炭素社会の実現など、未来の環境を考える学びを提供する。

活動場所	内子自治センター からり	対象児童・生徒	小学3年生～中学2年 生	対象学校区名	内子町内小・中学校	
開催日数・ 曜日・時間等	長期休業中	3	日	長期休業中	10 : 00 ~ 11 : 30	
	平日放課後	3	日	平日放課後	15 : 30 ~ 17 : 00	
児童・生徒の 平均参加人数	20	人/日	学習支援員	2	人/日 地元企業	
協働活動サポ ーターのべ人数	0	人		ボランティア のべ人数	0	人
活動内容	プログラミング体験教室、環境教育			参加者募集	各小・中学校を通じてチラシを配布し、希 望者を登録	

### 取組の概要

#### <主な取組内容>

- 木育×プログラミング教育 MOCK UP 夏の体験講座  
「ドローンプログラミングにチャレンジ」
  - ・林業を題材に、ドローンの活用について考える。
  - ・トイドローンをプログラミングで操作する。
  - ・ドローン×算数？ 三角形の角度をドローンで学ぼう。
- 学校巡回放課後体験講座
  - 第1回「ソーラーカーで太陽エネルギーを学ぼう」
    - ・太陽光発電って何だろう。
    - ・ソーラーカーを作って動かそう。
  - 第2回「ロボットプログラミングでセンサーを学ぼう」
    - ・レゴでプログラミングに触れよう。
    - ・命令を考えてレゴロボットを動かそう。
    - ・センサーロボットを組み立てよう。
  - 第3回「AI生き物ずかんで生き物観察会」
    - ・Chromebookでアプリを活用しよう。
    - ・校庭の植物調べをしよう。



(ドローンプログラミング体験)



(ロボットプログラミング体験)

#### <特色ある取組>

- 木育×プログラミング教育 MOCK UP 冬のワークショップ  
「デジファブでクリスマスオーナメント作り」
  - ・木材を素材としたクリスマス飾りの制作。
  - ・コンピュータでモノ作り「デジタルファブリケーション」を学ぶ。
  - ・木のクリスマスオーナメントを作る過程を学ぶ。



(デジタルファブリケーション体験)

### 事業を実施して

#### 【成果】

- 学習を通して、プログラミングの楽しさや、できた喜びを感じることができた。
- 地域や未来の環境を考える新たな教材を開発した。

#### 【課題】

- 子どもたちの興味・関心を高める教材の開発を行っていく。
- 学校の教育活動と連携しながら、体験活動を工夫する。

# 宇和上学び舎【西予市】

## ～地域ぐるみで子どもの学びを支えよう～

### ◆活動の目的・理念

- 一人ひとりが目標を持ち、学力向上を目指す子どもの学びを支援する環境を提供する。
- 地域の方々の協力を得ながら、学力の定着を目指す。
- 一人ひとりに応じた子どもの学びを支援する。

活動場所	中川地域づくり活動センター	対象児童・生徒	小学4年生～6年生	対象学校区名	多田小学校、中川小学校、石城小学校	
開催日数・曜日・時間等	平日(授業日)	0	日	第1～3土曜日	9 : 00 ~ 11 : 30	
	土・日・休業日等	33	日	夏季休業中の月～金	: ~ :	
児童・生徒の平均参加人数	7	人/日	学習支援員	4	人/日 教員OB	
協働活動サポーターのべ人数	0	人		ボランティアのべ人数	0	人
活動内容	宿題や予習・復習の学習支援、学習習慣の育成、学習相談への対応			参加者募集	各小学校を通じてチラシを配布し、希望者を登録	

### 取組の概要

#### <主な取組内容>

- **宿題にじっくり取り組もう**  
落ち着いた環境の中で集中して学習する。
- **目標を持って学習しよう**  
自分で学習時間や内容を決めて学習する。
- **苦手を克服しよう**  
学習のつまずきに気付き、その場で指導者に教わり、分かる楽しさを味わう。  
指導者とともに宿題の分からない所を考えることで、できた喜びや達成感を味わう。
- **家庭学習の進め方を学ぼう**  
学習の仕方を身に付け、家庭での学習習慣の育成につなげる。



(学習の様子)

#### 児童の感想

- ・友達と一緒に勉強できて良かった。楽しく学習している。
- ・算数が苦手だったけど、少し好きになった。
- ・分からない問題があると説明してくれるのが良かった。他の学校の人も仲良くなった。
- ・友達と一緒に勉強したり、宿題の分からないところを教えてくれたりするので良かった。

#### 保護者の感想

- ・土曜日に家でダラダラ過ごすのではなく、学び舎に行って友達と過ごしたり、学習したりできるので良い時間となっている。
- ・学び舎に行く事を楽しみにしている。休日に友達と一緒に勉強することが楽しいようだ。良い学習習慣となっている。
- ・丁寧に教えていただき、子どもも喜んでいる。

#### <特色ある取組>

- **地域の人材を生かした学力向上**  
地域在住の方に支援を依頼している。教員や学校生活支援員を経験されている方を中心に構成することで、児童一人ひとりにあった指導や対応をきめ細やかに行うことができ、児童・保護者からも高評価を得ている。



(学習の様子)

### 事業を実施して

#### 【成果】

- 児童同士が交流を図りながら、落ち着いた雰囲気での学習に取り組むことができた。
- 疑問に思ったことは、すぐに指導者に聞くことができ、次に進むことができた。

#### 【課題】

- 指導者の確保が難しい。
- 学び舎から遠いところの子どもの参加が難しい。

# うわじま土曜塾【宇和島市】

## ～地域ぐるみで子どもの学びを支えよう～

### ◆活動の目的・理念

- 少人数指導によって、各塾生に合ったきめ細かい学習支援を行い、学力の向上や学習習慣の定着を図る。
- 体験学習やレクリエーションを通じて、相互の人間関係を深めるとともに将来について考える機会を与える。

活動場所	市内6カ所の公民館	対象児童・生徒	小学4年生～6年生 中学1年生～3年生	対象学校区名	宇和島市立の小中学校 (小学校28校、中学校6校)
開催日数・ 曜日・時間等	平日(授業日)	日	毎週土曜日(午前の部)	9 : 00 ~ 12 : 00	
	土・日・休業日等	39日	毎週土曜日(午後の部)	13 : 30 ~ 16 : 30	
児童・生徒の 平均参加人数	19人/日	学習支援員	1か所 6人/日	教員OB、塾講師、家庭教師など	
協働活動サポ- ーターのべ人数	0人		ボランティア のべ人数	0人	
活動内容	教科書準拠の教材やスタッフ自作の教材を活用した 個に応じた「学習支援」や「体験学習」を行う。		参加者募集	各学校を通じてチラシ配布により募集 (申込者多数の場合は書類選考)	

### 取組の概要

#### <主な取組内容>

#### ● 学習指導

- ・開講式において、前学年までの学習内容のテストを行い、各塾生の習熟度を把握する。
- ・スタッフは事前に教材研究を行い、提示資料やプリントの作成等の準備をしっかりと行い、指導に臨む。
- ・学年、習熟度、教科等によって1～6名程度のグループに分けて、少人数によるきめ細かい学習指導を行う。
- ・学習の終わりに「ふり返りプリント」を塾生に記入させ、担当のスタッフが評価のコメントを記入する。

#### ● 研修会

- ・月に1度、各教室でミーティングを行い、児童生徒の学習状況や課題等をスタッフが共有する。
- ・全体研修会前、生涯学習課の担当者、各教室のリーダー、コーディネーターが集まり、リーダー研修会を行う。
- ・年に3回程度、全教室のスタッフが集まる全体研修会を行い、情報交換や意見発表を行う。



(各教室の学習の様子)

(全体研修会)

#### 塾生の感想

私は、小学5年生からうわじま土曜塾に通っています。最初は、3時間の学習時間に抵抗がありました。しかし、先生方の楽しい授業のおかげで、楽しく学習できるようになりました。先生に気軽に相談したり、教えてもらったりできるので、学校で学んだことが定着しています。今では学校の復習だけでなく、定期テスト対策もできるので、自信を持ってテストに挑んでいます。これから、入試に向けてもっと頑張ります。

#### <特色ある取組>

#### ● 体験学習

目的: スタッフや塾生相互のコミュニケーションを図るとともに、塾生が将来の夢や目標について考えるきっかけづくりを目的とする。

内容: ・外部講師(地域の企業・団体等)による体験学習の実施  
(砥部焼作り、塩作り、動画制作、ドローン体験、液体窒素実験、漢字の成り立ち教室等)  
・学習の要素を取り入れた運動やゲーム等、各教室で企画した交流会の実施

感想: 普段何気なく見ている映像も、どの角度から撮ると迫力が出るか、見やすいかを考えて撮られていることを知りました。実際に動画を撮影したり編集したりすることで、動画制作の難しさが分かりました。(動画制作体験参加者)



(液体窒素実験)



(漢字の成り立ち教室)

#### 事業を実施して

#### 【成果】

- 塾通信を毎週発行したり、研修会を工夫したりして、他教室の好事例を周知することで、スタッフの学習指導力アップを図ってきた。結果、塾生の学習意欲が高まってきている。
- 「ふり返りプリント」の充実や参観日の実施、マスメディアの活用等により、学校・家庭・地域との連携が深まった。

#### 【課題】

- 今年度は塾生数が定員をかなり下回った。また、塾生の出席率70%を目標に掲げたが、月によって達成できない時もあった。学習指導や広報活動のさらなる充実によって、参加したいという児童生徒を増やしていきたい。
- 教室ごとの特色や個性を尊重しつつ、情報交換をさらに密にすることで、塾全体の統一性を高めていきたい。

